

第 96 回 Molecular Embryology Seminar
医歯学先端研究特論

下記の通りセミナーを開催致します。

記

演題：哺乳類の性分化と維持に関わる分子機構

演者：関戸良平 博士
幹細胞及び発生遺伝学研究部門，
英国立医学研究所，ロンドン

日時：2011 年 11 月 21 日（月）17：30～

場所：M&D タワー 2F 共用講義室 1

[要旨]

哺乳類の性決定は Y 染色体上にコードされる転写因子 SRY の有無に依存している。SRY は雄の未分化生殖腺で胚齢中期に一過的に発現し、Sox9 遺伝子を活性化することで精巣決定を促す。一方、雌の Sox9 発現は抗精巣因子群により積極的に抑制されている。そのひとつである Foxl2 を成体雌から人為的に欠失させると Sox9 が脱抑制化され、卵巣から精巣への転換が起こる。これは一度決定された哺乳類の性は不可逆であるという定説に反証するものであり、ヒトの性逆転や半陰陽等の疾患に新たな知見をもたらすと期待される。

連絡先：大学院医歯学総合研究科・分子発生学分野
井関（内線：5579）